



司法試験・予備試験における5つの制度改革

1の改革 予備試験論文式「一般教養科目」廃止、そして「選択科目」導入

2022年度から、予備試験の論文式試験で試験科目となっていた「一般教養科目」が廃止され、「選択科目」が導入されました。一般教養科目は試験対策がほとんど不要な科目でしたが、選択科目は本格的な対策が必要となるため、その分負担が増えたといえます。なお、短答式試験では、現在も「一般教養科目」が課されます。

2の改革 法科大学院在学中に司法試験受験可能に

2023年度から、法科大学院在学中であっても所定の単位を修得し、1年以内に修了見込みの者は、司法試験が受験できるようになりました。これまでは、司法試験受験の主なルートは予備試験ルートと法科大学院修了ルートの2つでしたが、選択肢が広がりました。

3の改革 試験日の変更

2023年度から、法科大学院在学中受験が可能になったため、それに合わせて司法試験と予備試験の実施時期が約2か月先に後倒しになりました。

4の改革 法曹コース誕生

法科大学院での学習にかかる時間的・経済的負担を軽減するために2020年度から「法曹コース」が新設されました。法曹コースに入ると、「法曹コース（大学法学部）3年+法科大学院（既修者コース）2年＝5年」で司法試験の受験資格を得ることが可能となります。法曹コースと在学中受験制度を併用すると、法科大学院3年次（2年目在学中）に司法試験を受験することもできます。

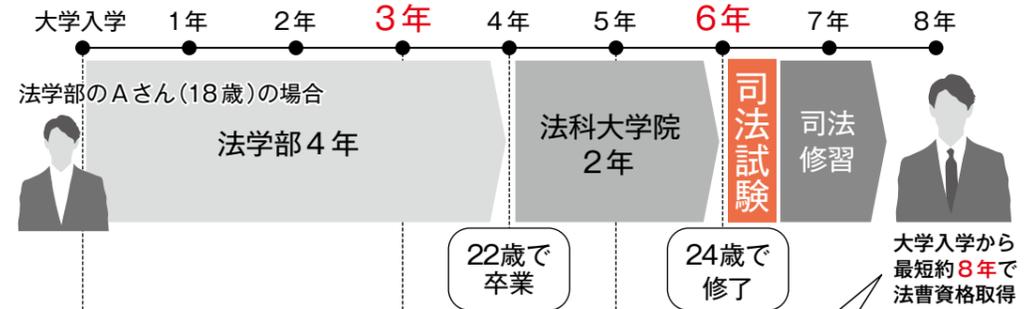
5の改革 CBT方式の導入

2026年の司法試験・予備試験からは、CBT（Computer Based Testing）方式の導入が予定されています。タイピング速度によって解答時間に差が生まれてしまうため、2026年以降に受験を予定している方は、タイピングスキルの向上を図りつつ、今後の動向を注視してください。

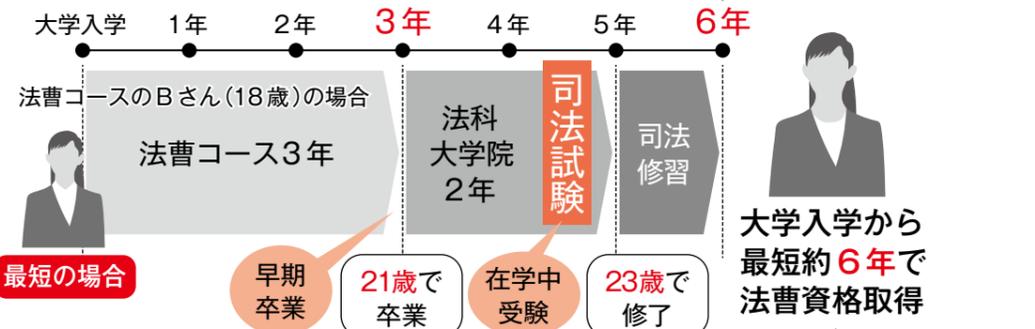
なお、本書の記述は、手書き論文答案方式（2024年12月現在）を前提としています。

以上が試験制度の変更に関する重要なポイントです。ここまで見てきた通り、皆さんは司法試験制度改革の過渡期に立たされているとあってよいでしょう。もっとも、これをチャンスと捉えることもできます。試験制度の大転換期に司法試験・予備試験に最短で合格する方法を次章から一緒に見ていきましょう。

新たな選択肢「法曹コース」は今までと何が違うの？～法曹になるまでのプロセス～



従来は法曹となるまで最短約8年
 今までの制度では、上の図のように、法曹となるまで原則として、最短約8年間の期間が必要でした。



最短で約6年に！（法曹コース＋在学中受験）
 法曹コースは、学部の早期卒業（3年で卒業）を前提とし、これまでよりも1年早く法科大学院に進学することが可能です。

一定の要件を満たした希望者は、法科大学院在学中に司法試験を受験することも可能になります。
 ※法曹コース出身者以外の方も在学中受験をすることが可能です。



独学者にオススメの教材

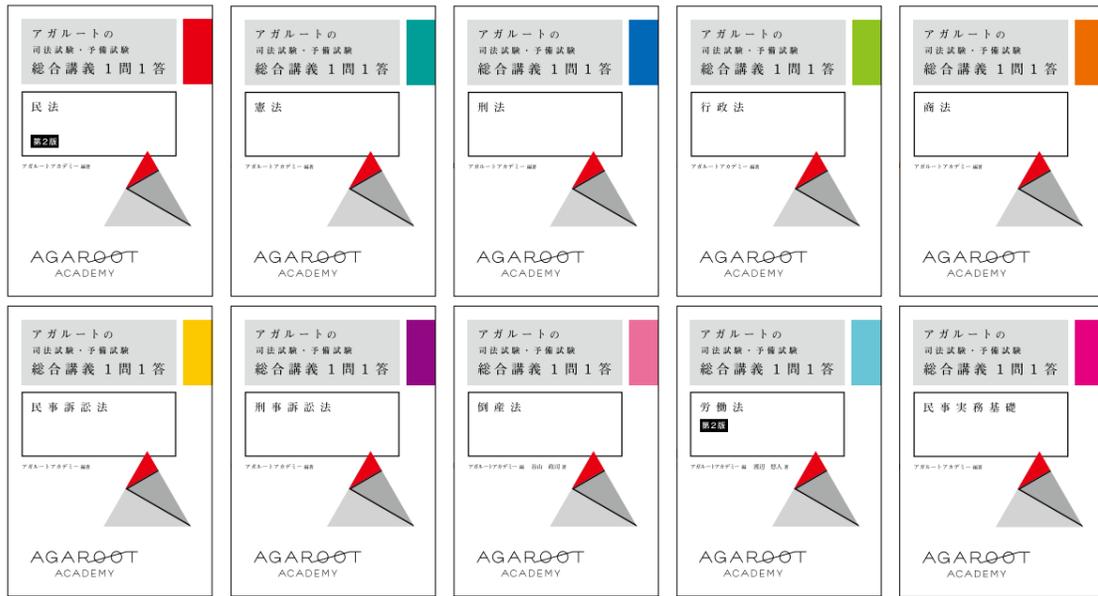
1 アガルトの書籍

■アガルトの合格論証集シリーズ

膨大な数の基本書・判例解説・学術論文等を網羅した上で、判例・通説の立場から書き下ろされた論証集シリーズ。内容が濃く、無駄のない論証が 高い評価を得ています。論証は自分で作ると非常に時間がかかるので、市販の論証集を使用するのがオススメです。

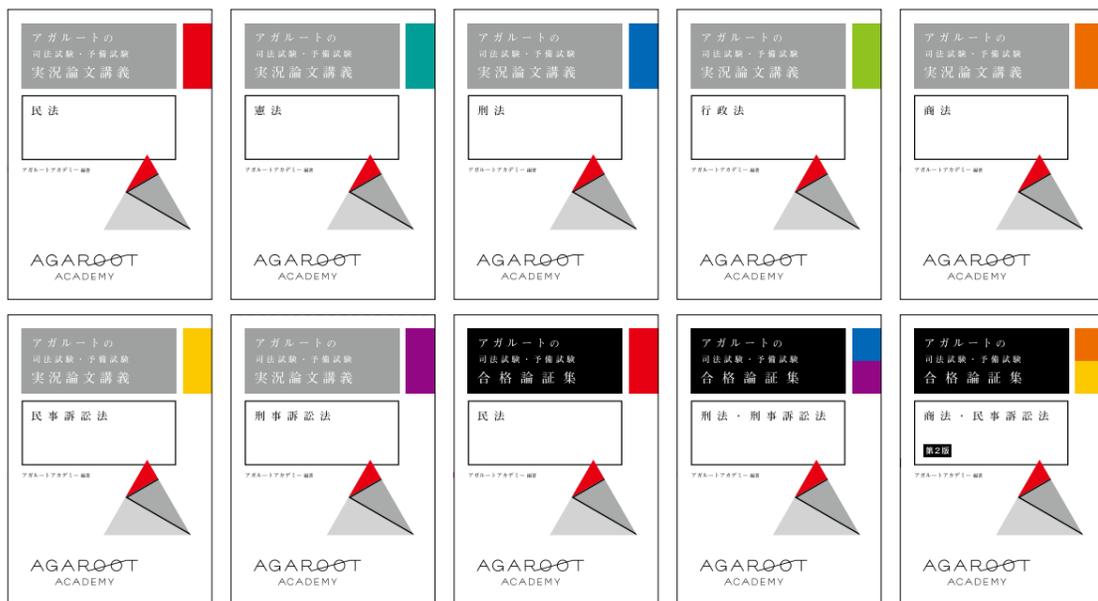
■総合講義 1問1答シリーズ

司法試験・予備試験合格に必要な全ての知識が1問1答に！ 重要部分が赤文字になっているため、赤シートで効率的に復習することができます。試験でスラスラ重要事項を吐き出せるようになります。



■実況論文講義シリーズ

論文答案の書き方を予備試験合格者の答案とともに解説。独学を選んだ方でも本書を利用してアガルトメソッドのもと、合格に近付きましょう！



2 科目ごとの教材

独学の方は、市販の書籍や過去問を利用して学習することになります。これまでの受験生の間で評価の高い教材をいくつかピックアップしましたので、参考してみてください。もっとも、合格のために以下の教材を全てこまきなくてはならないわけではありませんし、反対に、全てやったからといって必ず合格するわけでもありません。手に取って見て、自分に合うと思った教材に取り組んでみましょう！

▼各分野の基本書・演習書・判例集

分野	基本書	演習書	判例集
憲法	* 基本憲法 I (日本評論社)	* 憲法ガール Remake Edition・憲法ガール II (法律文化社) * 憲法演習ノート 憲法を楽しむ21問 (弘文堂)	* 憲法判例50! START UP (有斐閣) * 憲法判例百選 I・II (有斐閣)
行政法	* 基本行政法 (日本評論社)	* 基礎演習 行政法 (日本評論社) * 実戦演習 行政法 (弘文堂) * 事例研究 行政法 (日本評論社) * 行政法ガール・行政法ガール II (法律文化社)	* 行政法判例50! START UP (有斐閣)
民法	* 民法(全) (有斐閣) * 民法の基礎1 総則・民法の基礎2 物権 (有斐閣) * プラクティス民法 債権総論 (信山社) * 基本講義 債権各論 I・II (新世社)	* Law Practice 民法 I・II・III (商事法務) * 民法演習サポート 210問 (弘文堂)	* 民法判例百選 I・II・III (有斐閣)
商法	* 会社法 LEGAL QUEST (有斐閣)	* Law Practice 商法 (商事法務) * 会社法事例演習教材 (有斐閣)	* 会社法判例百選 (有斐閣) * 会社法判例の読み方 (有斐閣)
民事訴訟法	* 民事訴訟法 有斐閣スタジオ (有斐閣) * 基礎からわかる民事訴訟法 (商事法務)	* Law Practice 民事訴訟法 (商事法務) * 基礎演習 民事訴訟法 (弘文堂)	* 民事訴訟法判例百選 (有斐閣)
刑法	* 基本刑法 I・II (日本評論社)	* 刑法事例演習教材 (有斐閣)	
刑事訴訟法	* 刑事訴訟法 LEGAL QUEST (有斐閣) * 基本刑事訴訟法 I・II (日本評論社)	* 事例演習刑事訴訟法 (有斐閣)	* 刑事訴訟法判例百選 (有斐閣)
法律実務基礎科目 民事	* 要件事実入門 初級者編 (創研舎) * 完全講義 民事裁判実務 [基礎編] (民法研究会)	* 予備試験過去問	
法律実務基礎科目 刑事	* 刑事実務基礎の定石 (弘文堂)	* 予備試験過去問	

